

# サデクサ

*Persicaria maackiana* (Regel) Nakai

タデ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

石川県内では唯一、1箇所に生育し、個体数も減少している。貴重である。(現況:R-)

## 形態

茎は斜上するか、直立して多くの枝を分ける。鋭い下向きの刺毛がある。葉は托葉鞘の基部から出ており、有柄で有刺、先は鋭形、基部はほこ形で、耳部は水平に開き、心形、両面に星状毛を密生する。托葉鞘の上部は葉状に開き、緑色で手のひら状に切れ込む。

## 国内分布

本州、四国、九州に分布する。

## 県内分布

南加賀区のヤブツバキクラス域の低地に分布している。

## 生態など

高さ30~100cmになる一年草である。開花期は7~10月。花は数個ずつ集まり花序となり、花被は下方が白く、先が紅い。果実は球形に近く、中央がふくらんだ3稜形、褐色で光沢がある。

## 生育環境

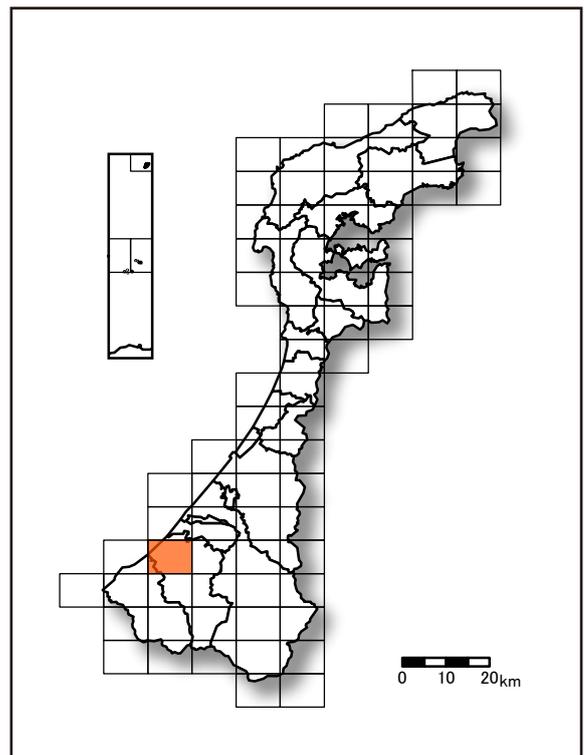
低地の河川などの水辺や湿田に生育している。

## 危険要因

河川開発、湿地開発。



小野ふみゑ・2005年10月10日・加賀・(托葉鞘) 本多郁夫



県内の分布